

テーマごとにすべての意見

【小坪漁港の強み】

- ・ 近隣に競合施設がない
- ・ 都心に近い
- ・ 良好な海浜
- ・ 起伏に富んだ地形
- ・ 広々とした空間
- ・ 自然を残したい
- ・ インスタ映え
- ・ ハワイのような雰囲気と田舎を併せ持っているところ
- ・ 自然・歴史
- ・ 神社仏閣がたくさんある
- ・ ハイキングコースが楽しい
- ・ 海浜公園から葉山側の景観
- ・ 美しい海、江ノ島・富士山のビュー
- ・ 鎌倉（2,000万人）、江ノ島（1,800万人）の観光客に隣接している
- ・ 首都圏からの交通の便がよい
- ・ 三浦半島の中で最も首都圏からの交通の便がよい

【小坪漁港の弱み】

- ・ 宿泊できる場所が少ない
- ・ 活性化された時の交通渋滞
- ・ 逗子駅からの交通の便が悪い
- ・ 駐車場の確保
- ・ 交通問題、道路問題
- ・ 知名度が低い
- ・ 子供の安全
- ・ アクセスが悪い
- ・ 道路が狭い
- ・ 渋滞する
- ・ 海浜がつながっていない
- ・ 集積スポットが分断されている

- ・不特定多数を相手にする施設が少ない（マリーナは会員制、漁港は漁業者のもの）
- ・交通アクセスが極めて悪い
- ・駐車場が少ない
- ・駐車場を整備できないとお客さんが来ない⇒市でできるのか
- ・ハード面の整備は現実性がない

【漁港の存在と活用】

- ・サーフポイントを守る
- ・海上の釣り堀
- ・観光として、漁港を知ってもらおうという宣伝を、市をあげてやれないか
- ・騒音問題
- ・小坪漁港で水揚げされたものを気軽に購入できる店
- ・住民がメインか地域外からの集客がメインか
- ・漁組を存続・維持するためには
- ・漁港は小坪しかない、残していきたい
- ・観光化する、フィッシャーマンズマリーナ
- ・市民も観光客も地場のものを食べる機会がない
- ・漁船・釣り船に乗る
- ・朝市を週末に実施する
- ・漁船を横付けして販売、魚を網焼きにして販売
- ・手をかけたものを売ったほうが付加価値
- ・子供の職業体験、ワカメの収穫体験
- ・ファミリー向けの釣り公園
- ・漁師小屋で食堂
- ・漁師が直営するくらいの小規模レストラン（サザエやタコを買ってきて、焼いて食する）
- ・子供たちの磯遊びスポット
- ・ウニ対策（市がウニを買上げ、商品券を発行する）
- ・朝市の実施
- ・サーファーの受け入れ施設
- ・バーベキュー場の常設
- ・メリットカップ（ヨットレース）
- ・社会実験（スモールイベント）
- ・漁協が養殖をする
- ・民間事業の活用
- ・地元の力で活性化

- ・新しい港、ビジターバース
- ・漁港の一部をマリーナ化する
- ・半屋外テントを常設
- ・小坪から海岸までボードウォーク化する

【漁業と観光】

- ・リビエラは別として、漁港は観光地として開発されていない
- ・小坪飯島プールの活用
- ・逗子唯一の一次産業である漁業を観光と結び付けたい
- ・魚離れであり、さばき方とか知る機会は珍しい
- ・大崎で磯遊び
- ・民泊・サーフィン⇒騒音・ゴミ対策
- ・観光客が増えすぎると危険
- ・小坪名物を開発するコンテストの実施
- ・アイデアのある商品（たこせんべいのような）
- ・ハワイをイメージした食べ物
- ・フィッシャーマンズワーフ（小さくてもよい）
- ・観光客が多すぎると嫌だなと思う
- ・静かな漁港が好きという人も多い
- ・生活プレ体験
- ・小学生の子供がいる家庭が親子で参加できるもの
- ・小さい子供が安全に魚釣りできるように整備
- ・イベントを企画する
- ・漁組・観光協会コラボイベント
- ・遊覧船・釣り船
- ・観光漁船の活用
- ・釣り堀
- ・漁業体験
- ・朝市の定期開催
- ・近隣から魚を回してもらおう（三浦野菜のように広い意味で地元）
- ・人件費がかかるやり方はよくない
- ・マリーナの宿泊客を観光に巻き込む
- ・マリーナの定住者が25～30%増加している
- ・宿泊客を増やしてイベントに巻き込みたい
- ・亀ヶ岡団地にも若い人が増えている

- ・鎌倉・逗子エリアに車 10 分で行けるのでアクセスがよい
- ・車に乗らない高齢者などは交通の便が悪い
- ・坂が多く高齢者は大変
- ・若い人を巻き込む
- ・若者を取り込む
- ・空き家が増えている
- ・小坪で民泊をやりたい人を支援する
- ・民泊のお客さんと釣り船へ
- ・民宿、駐車場、食堂の整備→定住者を増やす
- ・サーファーの集まるスポットをつくる
- ・地元の商店を利用させる仕組み
- ・地元の商店が減ってきている
- ・人が来ないから店じまいしてしまう
- ・コンビニすらない
- ・静かな小坪もよい
- ・三浦半島の海産物、農産物を扱える
- ・小坪のまつり、みかん投げ、夏まつり
- ・小坪潮騒祭りを漁協とコラボして行う
- ・香川県アートの島「直島」と小坪
- ・街並みを生かしたアート展示
- ・昔ながらの漁港の風景が魅力的
- ・「限定」をプロデュースする
- ・商業施設の設置（食堂など）
- ・海産物（うに）の販売
- ・小坪の再開発
- ・直売所

【漁港とマリーナの連携・融合】

- ・既にリビエラがある。リビエラ中心なら進めやすいが、他の企業の参入が難しい
- ・必要である。企業側の理解、漁業側の本業、話し合いの場を作るべき
- ・企業の中で完結し、地元にお金が流れる仕組みを
- ・オリンピックをきっかけに宣伝できるのでは（認知度アップ）
- ・家族向けの海釣り公園
- ・マリーナと小坪漁港のイメージ
- ・マリーナの知名度がある、どう共存するか

- ・ マリーナを生かさないと手はない
- ・ 加工所・フィッシャーマンズワーフをマリーナと共同で作る
- ・ リビエラの助けが必要
- ・ 生活者向けのスーパーを設置
- ・ 逗子マリーナとの協力
- ・ 葉山ステーションのような施設
- ・ 民間の主導で開発
- ・ マリーナとの共存

【海の駅・海洋交通など2次交通】

- ・ 漁港までの交通手段の拡張（例、海上バス 逗子海岸⇄漁港）
- ・ 逗子・鎌倉・葉山との連携（例、「湘南シーサイドベルト」という謳い文句）
- ・ 他の地域とのつながることは大きなメリット
- ・ シーバスのように主要駅や観光地から小坪を結ぶ「海の交通小国」があると、PRにもなるし気軽に訪れてもらえる
- ・ 海水浴場と小坪をつなげるトンネル
- ・ シーバス・レンタルボート
- ・ オリパラで江ノ島－小坪－葉山をつなぐシーバスをリビエラがやる
- ・ ビークルの開発
- ・ ヤマハとの連携策
- ・ シーレーンを利用したフィッシャーマンズマーケットの活性化
- ・ 三浦－シーボニア－小坪－江ノ島を回る
- ・ 漁港とプレジャーの共用（フィッシャリーナ）
- ・ フィッシャーマンズワーフ
- ・ 海上タクシー
- ・ 海路開発
- ・ 海岸道路からの道路設置
- ・ 国道と直接つなげる
- ・ ピアの開発

【公共用地の活用と新たな事業】

- ・ 公的な投入資金はあてにならない
- ・ 公共用地の使えるリソースは何か
- ・ スケートパーク

- ・ヨット置場
- ・フットサル場
- ・漁組裏を第3セクターに委託して、加工所などをつくる
- ・駐車場としての活用（立体駐車場）
- ・車を止めるスペースがないので、道の片側を駐車スペースにする
- ・シェアサイクルのさらなる活用
- ・自転車のステーション、休憩所、キッチンカー
- ・ハード整備
- ・駐車場の整備
- ・小坪の食堂を集める
- ・垂直避難できる建物をつくる
- ・空き家の活用（公共だけでなく個人も）
- ・空き家を民宿に
- ・逗葉新道近くの道の駅のようなお土産だけでなく住民も使えるような施設
- ・防災（防波堤・テトラポット）⇒津波避難タワー
- ・高さ制限⇒特区の活用